

テーマ：北方領土（実践校）

宗谷管内 稚内市立宗谷小学校

本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間と社会科の学習を関連付けて、北方領土の歴史や文化を学ぶとともに、映画「ジョバンニの島」の鑑賞や北方領土の語り部による講話等を通して、北方領土の特色や社会の情勢、自分たちとふるさとのこれからについて探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

北方領土について、映画「ジョバンニの島」の視聴や語り部による講話等から学ぶ活動を通して、北方領土の歴史や文化を理解し、領土問題を身近な問題として捉え、ふるさとのためにできることについて考え、発言したり行動したりできるようにする。

取組の様子

(1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、北方領土に関する資料を基に歴史や文化を学び、ふるさとについて考えることにつながるよう課題を設定しました。



【北方領土の説明を聞く様子】

(2) 情報の収集

北方領土に関する学習資料を用いた調べ学習や、映画「ジョバンニの島」の視聴、千島歯舞諸島居住者連盟の語り部による講話から北方領土についての情報を収集しました。



(3) 整理・分析

グループごとに集めた情報を整理し、「気付いたこと」と「これからできること」について考えを深めました。

(4) まとめ・表現

グループごとに作成した展示物をもとに発表し合い、北方領土の歴史や文化について理解を深めるとともに、ふるさとのためにできることについて自分事として考えをまとめることができました。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・一人一人が課題意識をもち、解決に向けた学習の見通しをもてるよう、北方領土と身近なふるさとを関連付けて考える場面を位置付けました。
- ・1人1台端末を活用し、北方領土の歴史や文化について一人一人が必要な情報を収集するとともに、共同編集機能を用いて協議を行いました。

実践の振り返り

- ・児童が発展的に学ぶことができるよう社会科の学習内容と関連付けたことにより、アンケート調査で「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたいと思う。」と全児童から肯定的な回答が得られるなど、児童が北方領土問題を身近な問題として捉えることができました。
- ・単元の導入において、教材の提示を工夫するなど指導計画を意図的・計画的に改善することにより、児童の興味・関心を高め、探究課題により一層主体的に取り組むことが期待できます。